

新型コロナウイルス感染症の管内商工業及び観光産業への影響

※管内商工業及び観光事業者への聞き取り調査結果から

商 業

- ・ 外出自粛や休業要請の影響もあり飲食店を中心に客足が伸び悩んでいる。
- ・ 飲食店ではテイクアウトに取り組んでいるが、観光客や地元企業等の団体からの予約が入らず売上げをカバーするまでに至っていない。
- ・ 緊急事態宣言解除後も客足が戻らず、売上げ減少に歯止めがきかない。
- ・ 例年開催され多くの人々が集まるイベントやお祭りが中止となり、商品の販売機会がなくなった。

工 業

- ・ 自動車関連の製造業では、3月下旬から続く国内自動車工場や欧米の工場等の閉鎖の影響で、生産や売上げが3割から5割減少している企業がある。現時点で部品の供給不足による稼働停止などの大きな影響がない企業でも、原材料の在庫確保や新規受注の見通しが不透明となっている。
- ・ 工場の稼働日数の調整や従業員の出勤日を調整するなど、社員の雇用を維持する努力をしているが、このままの状態が続くと資金繰りが厳しくなる企業も出てきている。
- ・ 学校給食用牛乳が出荷できず、大幅な収入減。小売店での販売も低迷しており、ネット販売や宅配事業での販売に力を入れている。

観 光 業

- ・ 宿泊業では、今年3月頃からキャンセルが増え始め、国の緊急事態宣言の後、予約のキャンセルが相次いだ。休業要請解除後も予約は入らない状況。ビジネスホテルでも長期滞在の工事関係者も引き払うなど、キャンセルが相次いだ。
- ・ 観光バス会社も貸切バスの予約は8月末までキャンセルとなり、10月の予約もキャンセルが入り始めるなど、非常に厳しい状況。緊急事態宣言の後、状況は悪くなる一方である。外出自粛と感染を恐れる人々の懸念が影響し、路線バスを利用する乗客がかなり減少している。
- ・ 道の駅など観光施設は、外出自粛の影響とともに、緊急事態宣言を受けて営業時間の短縮や閉館を実施したところもあり、例年多くの売上げが見込まれるGW期間中の収入が大幅に減少した。